



2017年9月10日

上野 秀樹 先生 講演会

「認知症と共に暮らせる社会」

～もし、あなたが認知症になったとき、
どこで・誰と暮らしたいと思いますか～



●上野 秀樹 先生 講演会に参加していただいた 方々のメッセージ

今年も認知症予防講演会のご案内をいただきまして誠にありがとうございました。
会場いっぱいの参加者のみなさんは～もしあなたが認知症になったとき、どこで誰と暮らしたいと思えますか～このテーマに導かれて参加されていると感じました。

「認知症」は新聞やテレビ、ネット 日々の生活の中で目から耳から入ってこない日はないように思います。それでも認知症への正しい理解が進んでいない場面もみられます。不安とおそれの中で認知症はこわいもの、認知症にだけはなりたくないと思う人も少なくありません。この度上野先生のご講演を拝聴して正しい診断と治療を受ければ、たとえ認知症になったとしても、穏やかに生きていけることを学ばれた方も多いかと思えます。

将来認知症になったら、どのように生きていきたいか認知症になる前に考えておく、誰かに伝えておく、元気な間は地域やあるいは所属する会で活動する、これは自分の責任だと改めて感じました。そして、認知症の人に優しい社会は健常者の人にもやさしい社会であることを、再認識するよい機会でした。ありがとうございました。

認知症の人と家族の会 兵庫県支部 河西 美保

亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りなくなるが分け合うとあまる。」被災地で実践されていた、東北の方々を、日本を、誇りに思います。

上記の言葉は、上野先生が「認知症と共に暮らせる社会」と題してお話された最後の言葉でしたが、改めてそれに気づくことが生きがいとなり、生きる意味であること。そして、そのことが認知症の予防にもつながり、認知症の進行を抑えることもでき、さらに多職種があつまる方々とネットワークが図れることを教えていただきました。

私も日常生活をする中で、周囲の方々お一人一人が欠かせない存在であり、誇りであることに気づき、交わりの保たれる生活ができればと思いました。

改めてこのような講演の機会をつくってくださった、認知症予防ネット神戸の皆様、また講演された上野先生、本当にありがとうございました。

社会福祉法人神戸老人ホーム 伊賀 浩樹

